

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2024年7月31日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【所内共通ディーゼル発電機の燃料用軽油タンクの不等沈下の確認について】</p> <p>所内共通非常用ディーゼル発電機(以下、所内共通D/G)の燃料を貯蔵しているNo. 4とNo. 5軽油タンクに関し、消防本部の立入検査(2022年3月)で「不等沈下が疑われる状態」との指摘を受け、年1回の定期点検において当該タンクの不等沈下量を測定。</p> <p>2023年12月の定期点検で、当該タンクの不等沈下傾向を確認したことから、年1回の点検頻度を年2回に増やし、当該タンクの不等沈下量の測定を実施。</p> <p>2024年6月に実施した点検で、No. 5軽油タンクに消防法令上の基準値(2%)を超える不等沈下(2.04%)を確認。</p> <p>また、No. 4軽油タンクについては、基準値を超える不等沈下は無いことを確認。</p> <p>No. 5軽油タンク本体については、現時点で外観上の異常は確認されていないが、8月中を目途に、超音波探傷試験による健全性確認と、貯蔵している油の抜き取り作業を行う予定。</p> <p>所内共通D/Gの運転に必要な燃料は、No. 4軽油タンクからの供給が可能であること、また、No. 4軽油タンクからの供給ができない場合でも、タンクローリーによる給油でディタンク※からの供給が可能であることを確認。</p> <p>今後、不等沈下の原因調査および恒久対策等について検討を進める。</p> <p>※軽油タンクから燃料の供給を受け、D/G機関に燃料を供給するタンク。</p>	G II	7月29日

